

令和2年度

黒石市に対する要望事項の回答

黒石市

令和2年度黒石市に対する要望事項一覧

【 黒石商工会議所 ⇒ 黒石市 】

要 望 事 項		担 当 課
1	小学校閉校に伴う災害時緊急避難所の確保について（新規）	総務課
2	くろいし健康マイレージの継続について（継続）	健康推進課
3	黒石市制度融資保証料の増額と制度間の流用について（継続・一部変更）	商工課
4	地域産業振興・雇用拡大につながる事業について（継続）	商工課
5	黒石市人口減少対策のための補助金創設について（新規）	企画課
6	大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）	土木課 都市建築課
7	カラス・野良猫対策について（継続）	市民環境課 農林課
8	国内外からの観光客に対する受入体制及び誘客の強化について（継続・一部変更・追加）	市民環境課 観光課 土木課 文化スポーツ課
9	黒石市内の観光地における公衆無料LANの設置について（継続）	観光課
10	適正配置に伴い使用されなくなる小学校の校舎や体育館、校庭の地域市民への開放について（新規）	総務課

要望事項	1 小学校閉校に伴う災害時緊急避難所の確保について（新規）
------	-------------------------------

担当課・機関名	総務課
---------	-----

要望事項の内容	<p>2019年10月に発生した台風19号により、各地で河川の堤防の決壊や氾濫による浸水、土砂崩れなどが多発し、非常に広範囲に甚大な被害をもたらしました。それ以外にも九州北部豪雨、千葉県豪雨など、2019年には日本各地で台風・豪雨被害が相次ぎ、「命を守る行動をしてください」と、アナウンサーが繰り返し注意を呼び掛けておりました。いつ発生するかわからない自然災害のために、日ごろの備えが必要となります。</p> <p>現在黒石市では、災害時の緊急避難所として、各小学校が指定されております。しかし令和2年4月から、今まで避難所として指定されていた小学校が閉校となり、最寄りの避難所がなくなるのではないかと不安に感じている近隣住民のために、引き続き指定避難所としての機能維持を周知していただくことを要望します。</p> <p>また、売却となり市の指定避難所を解除することになった場合には、近くの公民館などでは収容しきれない可能性があり、遠方の避難所に赴かなければならないケースも想定されます。避難先の変更について住民への周知も必要となることから、代替の避難所の検討を早急に対応していただくことを要望します。</p>
---------	---

要望事項に対する回答	<p>学校適正配置化後の空き校舎については、閉校後に地区協議会との意見交換等を行い、利活用を検討していくこととしておりますが、利活用の方針が決まるまでは、空き校舎は、避難所として活用したいと考えております。また、グラウンドについても、利活用の方針が決まるまでは貸付可能と考えております。</p> <p>北地区や追子野木地区など、利活用について既に要望のある地区もあり、令和2年度の早い段階で地区の意見を再確認いたします。</p> <p>空き校舎が売却となるなど避難所の数が減少する可能性もありますが、市としましては周辺の公共施設の配置状況も勘案し、町内会館や民間施設等の指定も視野に入れながら、災害の影響が比較的少ない施設を優先して確保するよう努めていくとともに、高齢者など避難に時間を要する方が安全に避難できるよう、可能な限り早めに避難情報を発信してまいりますのでご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、県が災害時の被害想定をしている本市の避難者が最大となる災害は、太平洋側海溝型地震の震度6弱で、災害直後の想定避難者数を勘案すると、今のところは閉校後の空き校舎が利用できなくなったとしても避難所が不足することはないと考えておりますが、近年、想定外の災害が多発していることから、市民の安心・安全のため地域の実情に応じた避難所の確保に努めてまいります。</p>
------------	--

要望事項	2 くろいし健康マイレージの継続について（継続）
------	--------------------------

担当課・機関名	健康推進課
---------	-------

要望事項の内容	<p>黒石市による「健康都市宣言」（H27.2.21）に伴い、生活文化商業部会では平成28年度より「くろいし健康マイレージ」の周知及びポイント利用のできる協賛店を募集するサポート等を行っております。当所発行の「商工くろいし」及び地元の新聞社にも記事として取り上げられており、少しずつではありますが当所の会員企業等にも周知がなされております。また、定期健康診断及びガン検診等の受診率も年々向上しているように感じられます。平成27年度に行われた国勢調査の「平均寿命」では、青森県は前回の調査に引き続き47都道府県の最下位でした。県内でも特に黒石市が属する中南地域のガン死亡率が高いというデータもあります。そこで当所会員企業等への健康診断・ガン検診等の受診率の向上並びに健康への意識を高めていくためにも引き続き周知が必要であると考えます。</p> <p>そして、最終的には黒石市民の医療費の削減・国民健康保険税の減税、平均寿命、健康寿命の向上に繋げていくべきであると考えます。</p> <p>このことから黒石市の「健康都市宣言」をより効果的なものにし、黒石市民と黒石市に拠点をおく事業者の健康と繁栄を目指していくためにも「くろいし健康マイレージ」を継続事業とし、市民の健康意識向上のために更なる予算措置を施していただくことを要望します。</p>
---------	---

要望事項に対する回答	<p>市では、市民の各種健診の受診率向上及び健康づくりの動機付けを図ることを目的に、平成27年度からくろいし健康マイレージ事業を実施しております。平成28年度からは、黒石商工会議所生活文化商業部会からご協力をいただき、健康都市宣言協賛店の店舗数増加・商工会議所会員への事業周知を図ることができました。</p> <p>令和元年度は、景品をすべて健康都市宣言協賛店商品券としましたが、前年を上回る応募があり、市民の健康づくりの意識向上へつながっていると思われまます。</p> <p>このことから、令和2年度も引き続き事業を実施し、黒石商工会議所との連携を強化しながら市の健康づくりを推進していきたいと考えております。</p>
------------	--

要望事項	3 黒石市制度融資保証料の増額と制度間の流用について（継続・一部変更）
------	-------------------------------------

担当課・機関名	商工課
---------	-----

要望事項の内容	<p>黒石市制度融資は当該保証料を一定額、市が負担し中小企業者の資金繰りや経費負担の軽減に寄与しております。</p> <p>今年度より利便性向上の観点から保証料給付の認定要件が撤廃となり、より円滑に制度融資が利用できるようになりました。</p> <p>制度融資の利用状況については、黒石市は青森県信用保証協会弘前支所管内での事業所数が2番目に多い地区であり、制度融資の利用件数も2番目に多い地区となっています。そのため令和元年度は上半期で予算に達してしまい、年度後半には保証料給付が受けられない中小企業者が多くなっています。</p> <p>よって、更なる利便性向上を図り1件でも多くの中小企業者が保証料給付を受けられるよう保証料給付の増額を要望するとともに、現在ある2つの制度融資間で予算を流用できるよう要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>黒石市特別保証制度は、中小企業者に対し運転資金・設備資金等の資金調達に係る信用保証料を補助することで資金調達コストを軽減し、経営の安定や事業の活性化を図ることを目的としております。</p> <p>令和元年度は、1月末現在の保証承諾額（融資額）が、533,140千円となっており、前年度の実績を上回っております。また、保証料補給実績は、10,000千円の予算に対し9,364千円となっております。</p> <p>このように、多くの活用がなされていることから、中小企業者の資金調達コストの負担軽減の役割を果たしていると考えております。しかしながら、当市の財政状況を勘案し、限られた予算の範囲内で様々な事業を展開していますので、すべての利用者に保証料を補助することは難しいのが現状です。今後も、限られた予算の範囲内で当事業を実施していきたいと考えております。</p> <p>このことから、小口及び事業活性化資金の両制度の保証料補助に係る予算消化率や、予算残額などを見ながら、ニーズに合わせ流動的に活用できるような運用方法も検討しており、中小企業者にとって利用しやすい制度となるよう見直しを図ってまいります。</p> <p>また、小口資金及び事業活性化資金の制度については、条件等に大きな差がなくなってきたのが現状であることから、商工会議所、信用保証協会、各金融機関などと協議しながら、できるだけ多くの利用者に保証料補給ができるような制度設計を検討していきたいと考えております。</p>
------------	--

要望事項	4 地域産業振興・雇用拡大につながる事業について（継続）
------	------------------------------

担当課・機関名	商工課
---------	-----

要望事項の内容	<p>全国的な少子高齢化による人口減少は黒石市でも進んでおり、市内中小企業者の雇用者も減少している。</p> <p>黒石市では、創業5年未満の創業・起業への支援として「黒石市創業相談ルーム」を開設し、「黒石市中心商店街空き店舗対策事業補助金」と連動で支援しています。</p> <p>相談者も増加傾向で好評であることから、「黒石市創業相談ルーム」並びに「黒石市中心商店街空き店舗対策事業補助金」の継続と更なる充実を図ることを引き続き要望します。</p>
---------	---

要望事項に対する回答	<p>市では、県や商工会議所と連携して創業・起業支援として創業セミナー及び創業相談ルームを開催するとともに、中心商店街空き店舗対策事業を実施しております。</p> <p>創業セミナーは、創業・起業の専門的知識を有する方を講師として、経営、財務、人材育成、販路開拓の4分野に関する知識習得を支援しており、平成29年度から令和元年度の3か年で39人が受講しております。</p> <p>創業相談ルームは、セミナーと同様に専門的知識を有する方が、創業に向けたビジネスプランの構想段階から創業初期まで、直面する課題解決に向けた総合的な支援をしており、平成28年度から平成30年度の3か年で98人が相談を受け、22人（うち黒石市7人）が起業に至っております。</p> <p>また、中心商店街空き店舗対策事業は、商店街の賑わい創出のため、空き店舗を活用し新規出店する事業者に対し改装費や家賃を助成しており、平成26年度から平成30年度の5か年で13件の出店がありました。</p> <p>両事業とも、平成31年3月に内閣総理大臣の認定を受けた、黒石市中心市街地活性化基本計画の目標の一つである「魅力と活力ある商業環境づくり」の達成に寄与する事業として位置付けており、事業効果も現れていることから、今後も関係機関の協力を得ながら継続して実施してまいりたいと考えております。</p>
------------	---

要望事項	5 黒石市人口減少対策のための補助金創設について（新規）
------	------------------------------

担当課・機関名	企画課
---------	-----

要望事項の内容	<p>当市の総人口は、昭和30年の41,607人をピークに減少へ転じ、令和元年12月1日時点の人口は33,084人となり、ピーク時から比しおおよそ20%、前年同月比では約400人減少しています。また、成人式の対象者数は、当市より人口が少ない平川市や、三沢市より少ない状況にあります。</p> <p>統計で見ると人口が増加した市町村では、安定的な雇用環境や住環境整備、加えて子育て支援等の取組みが進められたことで、人口の流入・定着が進み若い子育て世代の人口構成割合が高まり出生率の向上に繋がっているものと考えられます。</p> <p>当市の人口減少幅縮小のためには、所得水準の向上や暮らしやすさの向上に取組み、多様な就労環境、安心して子育てができる環境整備など長期的な観点からとらえることが重要と考えます。</p> <p>近隣市町村では定住促進と人口増加を図るために移住者及び子育て世帯に対し、住宅新築・購入に係る費用の一部を補助する事業や、子育て世帯を対象にした安心して子育てができる良質な低家賃の公共住宅を提供する事業を展開しています。</p> <p>人口減少問題への対策として、補助金制度を創設するなど定住人口の拡大に向けた実効性のある施策を講じていただくよう要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>現在、黒石市においては、人口減少・少子高齢化の問題を解決するための、「第2期黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めております。</p> <p>第2期総合戦略では、「しごとづくり」、「新たなひとの流れづくり」、「結婚・出産・子育ての希望づくり」、「黒石力を活かした地域づくり」を政策分野として設定し、様々な施策を進めていくこととしております。</p> <p>要望のありました補助金につきましては、すでに、子育て世帯の負担軽減を目的に、保育料や医療費の無料化実施や育児用品（紙おむつ・粉ミルク）購入に利用することができる子育て応援券を交付しているほか、令和2年度からは、新たに弘前圏域空き家・空き地バンクに登録されている物件の購入者に、家屋の改修費用を助成する制度を実施する予定であり、移住人口・定住人口の増加を進めることとしております。今後も、引き続き、現在進めている施策を展開することにより、人口減少の抑制に向けて取り組んでいきたいと考えております。</p>
------------	--

要望事項	6 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）
------	-----------------------------------

担当課・機関名	土木課・都市建築課
---------	-----------

要望事項の内容	<p>大鰐浪岡線は、大鰐町を起点とし、平川市・黒石市を経由して青森市と結ぶ重要路線である。近年、沿道の商業集積や通過交通の流入などによる交通量増加に伴い、慢性的に交通渋滞となっている。</p> <p>この、交通渋滞を解消するため、更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線（都市計画3・4・7 巾16m 延長7,170m）の整備促進を図ることを引き続き要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>主要地方道大鰐浪岡線の交通渋滞緩和対策における県の見解としては、当面、山形町等の交差点7箇所にて右折レーンの設置に併せ、寿町から国道102号までの区間の信号機の調整による対応が交通渋滞緩和対策として示されております。</p> <p>市としては、都市計画道路3・4・7黒石環状線について、平成25年度に県道弘前田舎館黒石線から北側の906メートル区間の事業に着手し、令和4年度にはその一部360メートルを供用開始する予定で整備を進めております。</p> <p>一方で、平成29年度に策定した「東北自動車道黒石インターチェンジを活用したロジスティクス戦略」に基づき物流の拠点化・最適化を推進しており、この実現に向け、周辺インフラの整備として道路・上下水道施設の整備を実施しております。すでに6社の進出が決定し、令和2年度から順次操業を開始することとなっております。</p> <p>このロジスティクス戦略を支援するため、県道から南側の国道102号に接続するロジスティクス戦略地付近までの区間についても整備を進めることで、より一層の効果が見込めると考えており、「黒石インターチェンジを活用したロジスティクス戦略を支援する道路整備について」として県に要望することとしております。</p>
------------	---

要望事項	7 カラス・野良猫対策について（継続）
------	---------------------

担当課・機関名	市民環境課・農林課
---------	-----------

要望事項の内容	<p>黒石市内の路上が、カラスの糞で汚れている箇所を多く見かけます。黒石市を訪れる観光客はもとより、市民の目から見ても決して良いものではなく、黒石市の景観が損なわれていることが大変残念でならない。</p> <p>計画作成年度が平成28年度「黒石市鳥獣被害防止計画」では、カラスの捕獲計画数が平成29・30・31年度は各100羽となっている。しかしながらカラスの個体数は減少していないように感じている。カラス被害を減らすには地域全体で対策に取り組み、カラスにエサ場を提供しない地域づくりを進めることも重要であると考えます。また、一部地域の、野良猫による糞・尿の悪臭に周辺住民が疲弊している。人が猫にひっかかれたり噛まれることによる、感染症等も懸念される。また、症例は少ないが、最悪死亡という報告もある。</p> <p>そこでカラスに関しては、捕獲数の増加と市民への呼び掛け強化を要望します。また、野良猫に関してはエサを与えない呼びかけを、引き続き広報・HP等で周知していくことを要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>「黒石市鳥獣被害防止計画」における対象鳥獣の捕獲計画等は、農林業被害の軽減を図ることを第一義としております。当該計画に基づくカラス対策は、銃器を用いることからその安全性の確保が重要であるため、農用地帯において、作業従事者のいない早朝の時間帯で、捕獲及び追い払いによる防除活動に取り組んでいます。</p> <p>当該計画におけるカラスの捕獲計画数は、関係法令等に照らしながら、生息数の増減、農林業への被害の発生状況等を踏まえた適切な保護管理対策を念頭に設定することとします。</p> <p>なお、令和元年度における新たな取組として、弘前市及び平川市と連携し、青森県農林水産部が主体となって実施しているカラスの行動域調査に参画しております。今後、この調査で得られた成果を基に、以降のカラス対策をより効果的に進める方策を研究していく考えです。</p> <p>市街地のカラス対策については、各町内に設置されているごみ集積場所がカラスのエサ場とならないよう、それぞれ防鳥ネット等対策が講じられており、効果が得られております。効果が継続されるよう、対策用具の使用方法等に関して広報・HP等により市民の皆様にお知らせしてまいります。</p> <p>また、追い払いに効果的な高輝度LEDの貸し出し、並びにふん清掃のためのデッキブラシの貸し出しについてもご活用いただけるよう、引き続き市民の皆様へ呼びかけてまいります。</p> <p>野良猫対策に関しては、広報での野良猫への無責任な餌やり防止の呼びかけ、看板設置を継続してまいります。</p> <p>また、野良猫発生の温床となり得る、多頭飼育の放し飼いをを行っている飼い主について、弘前保健所と連携し、訪問指導等を行うとともに、野良猫が多く生息している地域周辺の町内会からの要望に応じ、弘前保健所と協働により「野良猫に餌を与えないで」啓発チラシの配布を継続してまいります。</p>
------------	---

要望事項	8 国内外からの観光客に対する受入体制及び誘客の強化について（継続）
------	------------------------------------

担当課・機関名	観光課
---------	-----

要望事項の内容	<p>①黒石よされの開催・運営にあたり、観光客の受け入れ体制（トイレ・駐車場・照明）の不備や関連設備の老朽化、また祭り参加に係る個人の負担増による参加市民の減少など、多くの問題を抱えています。「黒石よされ」が昔の活気を取り戻すよう、黒石を代表する市の祭りであるとの認識のもと、さらなるご支援を要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>黒石よされは老若男女問わず参加できる祭りであり、黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略でも、地域住民と見物客が一体となって楽しめる参加体験型のまつりと位置付けております。毎年各地区協議会の皆様も参加されており、黒石力の現れであると捉えております。</p> <p>しかし、ご指摘のとおり少子高齢化や人口減少を反映し、かつての祭りの活気は薄れつつあることも事実であります。</p> <p>市では、昨年度に引き続き今年度も黒石よされブラッシュアップ事業を行い、祭りの知名度アップ・イメージ向上に努めました。首都圏で行われた「2019東北復興大祭典なかの」及び「ふるさと祭り東京」に参加したほか、流し踊りに合わせ浴衣の無料貸付・着付けサービスも実施いたしました。今後もこのようなソフト事業実施による側面支援を継続し、黒石よされ実行委員会の一員として協力してまいります。</p> <p>黒石よされ実行委員会の皆様には多大なご尽力をいただいておりますが、財政的な支援については、市で行う他の事業の財政需要が大変高まっていることから、補助金を増額する状況にはないと考えております。</p>
------------	---

要望事項	8 国内外からの観光客に対する受入体制及び誘客の強化について（継続）
------	------------------------------------

担当課・機関名	文化スポーツ課
---------	---------

要望事項の内容	<p>②金平成園は現在、春・夏・秋に公開期間をそれぞれ設定していますが、観光客に対してこみせ通りと並ぶ新たな観光の拠点として提案できるよう可能な限り公開日を増やして頂くよう要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>名勝金平成園（澤成園）については、市の貴重な歴史的遺産として保存するとともに、公開・活用して文化振興及びまちづくりに寄与することとしていることから、市においても通年での開園を目指しているところです。</p> <p>これまでは、年に50日～75日間に限って公開されておりましたが、市が運営するにあたり、令和2年度からは、4月から11月までの間、週6日開園することになります。</p> <p>冬期間については、施設内に暖房設備がないことや庭園に向かう通路上に膨大な量の屋根雪が堆積し塞がれてしまうことなどから、当面は初冬に特別公開を実施するなど通年開業に向けた試行、調査、検討を行い、通年開業の実現に向けて取り組むこととしております。</p>
------------	--

要望事項	8 国内外からの観光客に対する受入体制及び誘客の強化について（継続）
------	------------------------------------

担当課・機関名	市民環境課・観光課
---------	-----------

要望事項の内容	<p>③現在、市外から市内への案内は十分なされていますが、一方通行の多い市内の案内が不十分です。また、外国人観光客の増加に対応する英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語などの外国語表示の街路案内板も必要な状況となっています。</p> <p>つきましては市内の一方通行を分かりやすく誘導する街路案内板と外国語表示の街路案内板の充実を要望します。</p>
---------	---

要望事項に対する回答	<p>市内主要位置に設置している街路案内板については、英語での表記はされております。多言語による街路案内板の表記は煩雑で見にくくなること、近年の外国人観光客はスマートフォンを利用しそれぞれの言語で位置情報を得る傾向にあること、また車で訪れる外国人観光客はレンタカーで外国語対応のカーナビゲーションシステムを利用して目的地をめざしていること等の理由から、現時点では英語以外の複数言語による街路案内板の設置は考えておりません。</p> <p>なお、市では英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語による多言語の観光パンフレットを作成し市街地マップを掲載しています。パンフレットのデータは市ホームページからも入手可能となっておりますので、外国人観光客の皆さんにはそれらの情報を活用していただきたいと考えております。</p> <p>一方通行をわかりやすく誘導することについては、道路標識の他に、必要性を調査したうえで交差点手前に警戒看板を設置することで対応しております。また、県道との交差点についても、道路管理者である中南地域県民局地域整備部等、関係機関と調整を行い必要に応じて設置を考えております。今後も引き続き交通状況を確認しながら対応してまいります。また、外国人観光客への対応については、今後の外国人観光客の増加傾向を考慮し、警戒看板の誰でもわかりやすいデザインなどについて、調査・研究をしてまいります。</p>
------------	---

要望事項	8 国内外からの観光客に対する受入体制及び誘客の強化について（一部変更）
------	--------------------------------------

担当課・機関名	観光課
---------	-----

要望事項の内容	<p>④近年、外国人観光客が増加している中、市内には和式トイレが多く見られます。外国人観光客のみならず高齢の日本人観光客のためにも、公衆トイレの洋式化を要望します。また、外国人観光客にトイレをきれいに使用してもらえるよう正しい使用方法の外国語表示やイラストなどの導入を要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>市内の観光施設におけるトイレの洋式化についてですが、中野もみじ山観楓台トイレを除き、全ての施設に洋式トイレは設置されております。今年度は、虹の湖公園ステージ横の男女トイレの洋式化の改修をいたしました。今後も有利な財源を確保しながら、順次洋式トイレを増やしていきたいと考えております。</p> <p>現在、トイレ施設内のすべてが洋式ということではなく和式もあることから、使用方法については、多言語表記のついたイラスト表示を和式・洋式2種類を用意し、トイレへ掲示していただくよう各施設にお願いしたいと考えております。</p>
------------	---

要望事項	8 国内外からの観光客に対する受入体制及び誘客の強化について（追加）
------	------------------------------------

担当課・機関名	観光課
---------	-----

要望事項の内容	<p>⑤黒石を代表する景勝地であり、年々観光客も増加している中野もみじ山を新緑の季節にも楽しんで頂けるよう観楓台や散策道の整備を要望します。また、現在は中野神社の関係者が整備をしていますが、刈り取り後の草が散策道にそのままとなっているため、足に絡み転倒する恐れもあります。刈り取り後の草を撤去する費用などの一部だけでも助成してくれるよう要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>本市を代表する景勝地である中野もみじ山は、県営事業として行われた整備工事が竣工してから20年が経過し、設備の老朽化による安全面の確保が危惧されております。そのため、本市では中野もみじ山整備基本計画を策定し、観楓台ややすらぎの駐車帯から中野もみじ山までの歩道部分の転落防護柵の設置工事等を計画的に実施しており、利用者の安全や利便性の向上を図っております。今後は散策道の整備にも着手する計画となっておりますが、緊急性や費用等の様々な要素を考慮したうえで、安全性や効果を最大限発揮できるものを選択し、事業を進めてまいります。</p> <p>また、中野もみじ山を含む市民の森の維持管理については、南中野町内会が指定管理者として一帯の管理を行っております。草刈りを含む管理業務については、市から委託料を支出しており、町内会では夏の新緑及び秋の紅葉の時期に合わせて草刈りを実施し、自然環境の適切な保護や利用の増進を図っております。刈り草の処理方法については、指定管理者に聞き取りを行うとともに、現地を確認したうえで、利用者が快適に利用できる環境づくりに努めてまいります。</p>
------------	--

要望事項	9 黒石市内の観光地における公衆無料LANの設置について（継続）
------	----------------------------------

担当課・機関名	観光課
---------	-----

要望事項の内容	<p>現在、黒石市内で観光地などの交流人口の多い場所（屋外）に、広域で公衆無料LANを常設しているところはありませんが、観光客等の利便性を高め、SNS等でどんどん黒石市の魅力を発信して頂く仕組みが必要であると考えます。</p> <p>つきましては、地域外からの来訪者を増やすためにも黒石市内観光地等交流人口の多い屋外に広域で公衆無料LAN設置を検討して下さいよう要望します。</p>
---------	---

要望事項に対する回答	<p>市内の公共施設における公衆無線LANは、現在、市役所駐車場、津軽伝承工芸館、虹の湖公園、松の湯交流館に常設しているほか、紅葉時期には中野もみじ山の臨時観光案内所にも期間限定で設置しております。また、一部飲食店など民間事業者等でも公衆無線LANを設置している状況が見受けられます。</p> <p>近年、外国人観光客は増加傾向にあり、中町こみせ通りの無電柱化、道路の美装化などを行うことで今後更に観光客の増加が見込まれると考えております。</p> <p>市では来年度、国内外から訪れる観光客の利便性向上を図るため、屋外で利用できる広域公衆無線LANを中町こみせ通りに試験的に設置する予定としており、SNS等で黒石市の魅力を情報発信していただけるよう事業を展開していくこととしております。</p>
------------	--

要望事項	10 適正配置に伴い使用されなくなる小学校の校舎や体育館、校庭の地域市民への開放について（新規）
------	--

担当課・機関名	総務課
---------	-----

要望事項の内容	<p>「黒石市小・中学校適正配置計画」に基づき、令和2年4月より小学校の統合が行われるが、使用されなくなる6校（現黒石小学校、中郷小学校、北陽小学校、牡丹平小学校、浅瀬石小学校、追子野木小学校）の校舎や体育館、校庭を、有効活用する予定はあるでしょうか。</p> <p>ぜひ地域市民に開放し、健康づくりやふれあい活動ができる場を維持できるよう要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>学校適正配置後の空き校舎については、閉校後に地区協議会との意見交換等を行い、利活用を検討していくこととしておりますが、利活用の方針が決まるまでは、空き校舎や体育館は、避難所として活用したいと考えております。また、グラウンドについても、利活用の方針が決まるまでは貸付可能と考えております。</p>
------------	--